

空間情報特論 A 演習

2 単位 (選択) 1 年 (後期), 2 年 (後期)
平井 松午・教授 / 地域科学専攻 (博士前期課程) 地域創生

【授業目的】 「歴史情報データの GIS 分析」についての基本的操作法および解析手法についての基礎的知識の修得を目的とする。

【授業概要】 「空間情報特論 I」の受講を前提に、絵図・地図資料あるいは歴史資料、各種の近代統計データ等を用いて、GIS(地理情報システム)分析を行う。具体的には、このような歴史情報の収集を関係機関の協力の下に実施し、収集したデータについては、GIS 解析を行うための基礎的な解読・分析を行う。そのような作業の上にとって、GIS 分析に有効な各種情報を抽出し、歴史情報データの GIS への援用方法に関する技術面について教授する。このような実践的な演習を通じて、景観復原法や地域分析法、さらにはそうした分析に必要な GIS 技術を修得する。

【キーワード】 歴史地理学, GIS, 絵図・古地図, 景観分析法, 地域分析法

【到達目標】 歴史地理学的な研究テーマの下に、GIS 分析に必要な歴史的データの収集、データベース化、分析・解析といった具体的な作業を行うことで、歴史的景観や地域分析の研究手法・技術の修得を到達目標としている。

【授業計画】

1. GIS の仕組みとソフトウェア
2. 歴史地理学研究に活用可能な GIS データ
3. 絵図・地図画像データの収集とデータ化
4. 高精細画像データの特徴と画像処理
5. 史料・統計の収集とデータベース化
6. GIS の投影法と測地系
7. 数値地図と空間データ基盤の利用
8. GIS ソフトへの絵図・地図画像の読み込み
9. GIS ソフト上でのフィーチャーデータの作成
10. GIS ソフトへのデータベース (数値データ) の読み込み
11. DEM(標高データ) の活用
12. GIS を用いた景観分析
13. GIS を用いた地域分析
14. 学生による GIS 地図の報告
15. GIS 地図の活用法

【成績評価】 本授業はおもに演習形式で行うが、受講学生には発表も課す。授業への取組姿勢や質疑内容、発表内容、レポート・GIS 地図により、評価を行う。

【再試験】 再試験等を行わない。

【教科書】 なし。授業時に必要なプリント・資料については適宜配布する。

【参考書】

- ◇ 有蘭正一郎ほか編『歴史地理学調査ハンドブック』古今書院, 2001 年, ¥2,800.
- ◇ 高橋重雄ほか編『事例で学ぶ GIS と地域分析』古今書院, 2005 年, ,000.

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218036>

【連絡先】

⇒ 平井 (2116, 088-656-7159, hirai@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL